

吉野川市

議会だより

令和元年12月議会定例会



**若い世代の意見で
魅力あるまちをめざして!**

令和元年12月23日
吉野川市高校生議会

目次

新議員紹介	2
委員会での審議	3
ここが聞きたい	5
代表質問	6
一般質問	10
審議結果一覧	14
高校生議会	15

議会HPIは
コチラから
確認!



吉野川市公式キャラクター
ヨッピー・ビッピー



市議会議員補欠選挙 当選者決まる

10月20日に告示された吉野川市議会議員補欠選挙では、次の3名が無投票で当選しました。



北川 麦
議員
鴨島町森藤



中西 涉
議員
鴨島町知恵島



岡田 晋
議員
鴨島町西麻植

会派・委員会構成の変更がありました

【常任委員会】 総務常任委員会 委員長 岡田光男 副委員長 山添純二 委員 岡田晋、岡田英、河野利英、塩田智子、福岡正、工藤俊夫		【文教厚生常任委員会】 委員長 藤原一正 副委員長 岸田益雄 委員 相原一永、中西涉、北川麦、田村修司		【産業建設常任委員会】 委員長 阿佐勝彦 副委員長 近久善博 委員 川村辰夫、細井英輔、原田由一、川村洋樹		【議会運営委員会】 委員長 栗原五男 副委員長 工藤俊夫 委員 近久善博、阿佐勝彦、原田由一、岡田光男、藤原一正	
【議会広報特別委員会】 委員長 山添純二 副委員長 工藤俊夫 委員 塩田智子、栗原五男、細井英輔、岡田光男、岸田益雄		【監査委員】 岡田光男、細井英輔、岸田益雄		【徳島県後期高齢者医療広域連合議会議員】 相原一永		【徳島中央広域連合議会議員】 相原一永、川村洋樹、河野利英、山添純二	
【阿北特別養護老人ホーム組合議会議員】 相原一永、川村洋樹、岸田益雄、河野利英、川村辰夫、藤原一正、田村修司		【阿北環境整備組合議会議員】 相原一永、近久善博、栗原五男、細井英輔、岡田由一、原田光男、山添純二		【中央広域環境施設組合議会議員】 相原一永、近久善博、岸田益雄、栗原五男、細井英輔、原田由一、北川麦		【一部事務組合議会議員】 相原一永、岸田益雄、塩田智子、福岡正、藤原一正	
【阿北特別養護老人ホーム組合議会議員】 相原一永、川村洋樹、岸田益雄、河野利英、川村辰夫、藤原一正、田村修司		【阿北環境整備組合議会議員】 相原一永、近久善博、栗原五男、細井英輔、岡田由一、原田光男、山添純二		【中央広域環境施設組合議会議員】 相原一永、近久善博、岸田益雄、栗原五男、細井英輔、原田由一、北川麦		【一部事務組合議会議員】 相原一永、岸田益雄、塩田智子、福岡正、藤原一正	

◎代表 ○副代表 ☆経理責任者

新市長初登壇

令和元年12月議会定例会が11月25日に招集され、原井市長が初登壇し、所信を表明しました。

市民の皆様の小さな声にも心を寄せることができる優しさ、そして、確固たる信念を持った強さ、行動力・決断力により、誠心誠意、市政運営に取り組み、その基本政策の柱として、「暮らし、福祉における市民満足度の向上」「市長トップセールスをはじめ、これまでにない行動力の実践」「移住定住、にぎわいに繋がる吉野川市の魅力度の向上」「安心、安全、便利に繋がるまちづくりの拡大」「市民の役に立つ所々市役所への変革」を掲げ、今後、これらの着実な実行に全力を傾注していくと、市長就任の抱負を述べました。



初議会で所信を述べる原井敬市長

総務常任委員会

◇市長提出議案10件を審査

吉野川市暴力団排除条例制定について

Q 暴力団の定義は。

A 暴力団対策法第2条第2号に規定するものであり、その団

体の構成員が集団的に又は常習的に暴力的不法行為等を行うことを助長するおそれがある団体とされている。

◇全議案を異議なしで可と決定

文教厚生常任委員会

◇市長提出議案10件を審査

令和元年度吉野川市一般会計補正予算(第5号)について

Q 保育体制強化事業補助金でアクティブシニアの詳細は。

A な高齢者を意味するものと考えており、年齢的な決まりはないが

世界保健機構の定義では、シニア、高齢者は65歳以上とされている。

県のOJT経費補助事業では、55歳以上の方を対象としている。

国の補助制度である保育体制強化事業は、保育支援者を雇用する際に、55歳以上の方を雇用すれば研修

経費として法人に補助をするものである。

これにより、保育士の負担軽減や離職防止、アクティブシニアの就労支援に繋がるものと考ええる。

Q 保育体制強化事業補助金に何人の申込みがあったのか。

A 2園で各1名ずつ計2名である。保育体制強化事業は、国・

県の補助事業で、保育支援者を雇用することにより保育士の負担を軽減し、離職防止を図ることを目的として創設された事業である。このことから、保育士・保育教諭が前年と比較し同数以上であることが条件となっている。こうした条件を満たし、希望する園があれば、国費・県費補助を活用しながら、次年度以降も継続して事業を実施していきたいと考えている。

Q 校務用パソコンオペレーションシステム業務委託料について、ウインドウズ7から8にアップグレードするそうだが、なぜ10にしなければなのか。

A 元々ウインドウズ8であったものを当時のソフトとの対応状況を考慮し、ウインドウズ7にダ

ウングレードしていたが、このたび元のウインドウズ8に戻し、セキュリティ対策のため8・1に更新し経費を節約するためである。

Q 吉野川市佐藤高由教育振興基金を活用して山瀬小学校理科室エアコン設置工事が計上されているが、寄付金で使用できる範囲は。

A 故佐藤高由氏の意志に基づく寄付金を原資として設置され

た吉野川市佐藤高由教育振興基金は、山瀬小学校、山川中学校における教育の振興および教育環境の充実を図るために設置されており、山瀬小学校、山川中学校における教育の振興および教育環境の充実を図ることに使用できる。

Q 吉野川市川島老人福祉センターの指定管理者の指定について

A 城山老人福祉センターは引き続きシルバー人材センターが指定管理者を引き受けるが、川島老人福祉センターの指定管理者は、シルバー人材センターから社会福祉協議会に代わることであるが、何か問題があるのか。

Q 吉野川市城山老人福祉センターの指定管理者の指定について

A 城山老人福祉センターは、シルバー人材センターが事務所

3

を置いて管理しているが、川島老人福祉センターは別の職員を雇用して管理しており、管理責任者が緊急時等に円滑な施設管理を行うことが難しいことから、このたび管理を行う意思がないとの申し出があり、社会福祉協議会を指定することとした。

産業建設常任委員会

◇市長提出議案3件を審査

●令和元年度吉野川市一般会計補正予算(第5号)について

Q 中山間地域交流拠点の宿泊施設は何名宿泊できるのか。また、美郷の団体が管理するのか。

A 16名で届出をしているが、それ以上も可能である。宿泊施設、カフェレストランを含む施設全体について、地元の方々との協議で



中山間地域交流拠点施設として活用される旧種野小

管理団体を決め、一括して発注したいと考えている。

Q ため池22カ所の旧町村別の数
は。また、ため池ハザードマップ作成委託料が600万円となっているが、防災局と連携し市職員で作れないか。

A 鴨島14カ所、川島6カ所、山ハザードマップ作成費用については、県補助100%となっており、図面等を利用して作成するが、職員だけの作成は難しいため、業者への委託を考えている。

●吉野川市アリーナ・交流センター(仮称)建設工事の変更請負契約の締結について
Q なぜ、9900万円という非常に大きい金額の補正が出てくるのか。土地購入にも約5億円かかっているが、アリーナ棟、交流棟の整備にいくらかかり、当初の予定金額から、いくら変わったのか。

A 市民プラザの全体事業費は、用地購入、建物費等すべてを含め48億2768万5千円である。

Q 今回の補正も含め、今年度約36億円の市債を発行している。今年度当初予算は約234億円、補正後は240億円以上となり、本

市の財政に非常に大きな圧迫をかけている。また、毎年の公債費は23億円を超えており、年間予算の10%近くとなっている。

今後、5年以内にごみ焼却場も建設しなければならず、将来への負担が非常に大きくなっている。市の財政も勘案しながら事業を進めるべきであるが、市の考えは。

A これから長い年数をかけて返していかなければならない市債があり、今回のアリーナについても長期にわたって償還が続いていくことになる。

12月議会の市長所信でもあったように、合併特例債の終焉、公共施設の維持管理等にも、これから費用がかかってくるため、今後、非常に厳しい財政運営を強いられることは間違いない。ご指摘の点も肝に銘じて



開館に向け工事が進む市民プラザ

市政運営を図っていきたい。
現在、第4次行財政改革の計画を立案中であり、市債の償還も含めて、今後においても安定的な運営ができるように努めて参りたい。

◇全議案を異議なしで可と決定

人事案件

◇次の人事案件が提出され同意しました。

●副市長

岡田 芳宏氏(鴨島町西麻植)

●固定資産評価員

岡田 芳宏氏(鴨島町西麻植)

議員提出議案

●じん肺・アスベスト被害根絶を求める意見書について

提出議員 栗原 五男
異議なしで可と決定

●国民健康保険税を協会けんぽ並に引き下げる改善を求める意見書について

提出議員 岡田 光男
異議なしで可と決定

●吉野川市のJR駅のトイレの使用再開を求める決議について

提出議員 岡田 晋
異議なしで可と決定

いじが聞きたい

代表・一般質問

※詳細は、市議会ホームページ内の会議録をご覧ください。
(QRコードを読み取れば、会議録が確認できます。)



12月議会定例会では9名の議員が代表・一般質問を行いました。

●の質問を中心に取り上げました。

代表質問

塩田 智子

- 高齢者等の交通弱者への移動支援について
- マイナンバーカードの普及促進について
- 自然災害に対する対応策について
- 中心市街地の活性化計画について
- 観光振興政策について
- 本市の魅力度向上について

福岡 正

- 子どもはぐくみ医療費助成制度について
- 人・農地プランについて
- 生活排水処理について

一般質問

岡田 晋

- 徳島病院の存続について
- 選挙投票における選挙人の利便性向上について
- 市教委における子どもの権利条約の取り組みについて

田村 修司

- 子育て環境の充実について
- 徳島東部都市計画について

岸田 益雄

- 下水道事業について
- インフルエンザの予防接種について
- 保険者機能強化推進交付金について

岡田 光男

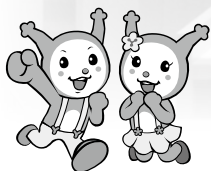
- 市長の政治姿勢について
- ごみ処理について
- 洪水浸水対策について
- 新アリーナの利用について
- 会計年度任用職員について

阿佐 勝彦

- 交通弱者対策について
- 飯尾川氾濫対策の要望について
- 救急事情の改善について

川村 辰夫

- 企業誘致について
- 企業誘致に関するデータベース構築について
- 水防法・土砂災害防止法に基づく避難確保計画の作成について
- 廃校舎の活用について



代 表 質 問



塩田 智子
(薫風会)

交通弱者へのデマンドバスなど
新たな施策の構築は

(質問)

有効な支援策を調査研究し、提供
できる行政サービスを実施したい

(答弁)

◎質問

高齢者に関わる問題の一つとして、アクセルとブレーキの踏み間違いなどによる交通事故が多発しており、全国的に運転免許証の返納が推進されている。今後、増加が予想される交通弱者の方に対し、本市独自の移動支援策を設けていないが、全国では、さまざまな手法による移動支援策を実施している。本市でのデマンドバスなど、新たな施策の構築の必要性は。

○総務部次長

車で移動することが前提となっている地域において、高齢者の方などで運転免許証を自主返納するなど交通弱者と呼ばれる方にとっては、通院や買い物など日常生活を送る上で必要な移動手段を手軽に利用することが困難な環境にある。

美郷地区では、地域住民の交通手段として巡回バスの運行などが行われているが、市内全域に対応できる、新たな移動支援策が求められている。

有効な支援策を先進地の実施状況や新しいサービス形態などを参考にし、調査研究を進める。

◎再問

市長は「市民との約束」の中にお年寄りの足、つまり移動手段の確保を揚げていた。今後、新たな施策の構築に向け、どのように取り組むのか。

○市長

合併特例債の終了など本市の財政状況は厳しいが、限られた予算の中で費用対効果の高い移動支援を検討し、施策の構築を目指す。

まずは利用者ニーズの把握や先進地の調査研究を行い、提供できる行政サービスを実施したい。

【その他の質問】

◎質問

マイナンバーカードの今後の普及促進対策は。

○市民部長

広報やホームページでの周知や税申告相談会場での交付申請の支援など、取得に向けた普及啓発活動などに取り組む。

◎質問

自然災害に対する発生前と発生後の対応策は。

○防災局長

被害の迅速な回復を図る「減災」の考え方を防災の基本理念とし、災害予防対策をハード・ソフト両面から進める。

◎質問

中心市街地の活性化計画の進捗状況は。

○建設部長

アリーナおよび交流センターの建設工事は、11月末時点で全体の進捗率は86%である。

令和3年度に、銀座・文楽周辺地域の排水路整備および舗装、街路灯改

修などの事業を行う。

◎質問

市民による自発的まちおこしイベントを活用していく考えは。

○産業経済部長

各イベント実行委員会と関係を深め、観光振興に繋がるよう、サポート体制の構築に向け取り組みを進める。



旧種野小学校で開催された「みんなの文化祭」

令和元年12月 議会定例会



黒原 五男
(志誠会)

台風や大雨による災害への対策は

(質問)

防災ハザードマップが適切な避難行動に繋がるよう研修等に活用していく

(答弁)

◎質問

近年、異常気象により多くの災害が発生し、痛ましい被害が起きています。今年も台風大雨被害により多くの方が犠牲となり、農林水産業においても、何千億円もの被害が出ています。本市も、いつこのような災害に見舞われるか分かりません。そこで、本市の災害への対策状況や備蓄品、避難所周知の徹底、予備電源の確保についてどう対応しているのか。また、万が一吉野川の

堤防が決壊した場合に想定される浸水の深さ、被災者支援対策は。

◎防災局長

徳島県災害時相互応援協議会が策定した「南海トラフ地震等に対応した備蓄方針」に基づき目標数量を定め、計画的に備蓄を進めている。食料約1万6千食、毛布3103枚、簡易トイレが段ボール製も含め505基、トイレットペーパー120ロール、生理用品3485枚、紙おむつ4

148枚、ブルーシート110枚、その他に携帯トイレ、LEDランタン、食器など、多くの品目を備蓄している。

予備電源はすでに48台購入し、避難所33力所に配備しており、今年度更に6台購入する予定である。全自主防災組織にも56台貸与している。

現在の避難所は、市ホームページや防災ハザードマップで公表しており随時確認できる。今年度、防災ハザードマップの更新を行っており、現地調査の結果を基に利用できる施設の再検討を行う。

防災ハザードマップが適切な避難行動に繋がるよう、自主防災組織や学校の協力を得て、研修や防災教育の教材として活用していただきたい。

吉野川堤防決壊時の浸水深は、市役所で3.9m、川島ごも園6.5m、山川地域総合センター

3.2mと想定される。

被災者支援については、災害援護資金の貸付、市税の減免等税緩和措置、被災者生活再建支援金などがある。

【その他の質問】

◎質問

観光活性化事業各イベントへの支援は。

◎産業経済部長

各イベント実行委員会と緊密に連携し、さらに取り組みを進めていく。

◎質問

新アリーナの音響照明設備は、コンサートの開催に対応しているのか。

◎教育委員会理事

コンサートなどが必要な機材を持ち込む必要があり、仮設対応となる。

◎質問

新鴨島図書館での自習利用への対応は。

◎教育委員会理事

新鴨島図書館では、学習室を設けている。土日祝や長期休暇中は、利用者増加が予想されるので、利用状況を見極めながら、多くの方が利用できるよう対応していく。

◎質問

ちびっこドームの利用状況と今後の活用は。

◎健康福祉部長

利用者は、令和元年度10月末で6401人。来年度より、市民プラザに移転するが、育児相談や子育て支援に関する窓口としての役割は残す。

◎質問

不登校児童生徒の現状と一じめの件数は。

◎副教育長

定期的に情報共有の機会を設け、状況把握に努める。小・中学校の一じめと認定した件数は62件。

代 表 質 問



阿 佐 勝 彦
(新風クラブ)

飯尾川氾濫対策について県への要望は

(質問)

直接要望し、流域の市民が安全で安心して生活できるよう努力したい

(答弁)

市としてはその動向を見守っていききたいと考えている。

飯尾川の鴨島町区間の維持関係（河川の浚渫、竹の伐採等）については、適宜、県に対応をお願いしている。

◎質問

飯尾川氾濫の原因は、本市の下流で川幅が絞られているためであり、川幅を元に戻すことができない理由は次のとおりである。

- ①下流域で地下水を飲料水として利用している。
- ②下流域の農業用水としての取水が必要である。
- ③下流域では大雨時の雨水は遠慮したい。

以上の諸問題から麻名用水堰撤去の具体的改善策が進まず本市は豪雨の度に被害を被っている。

このことから、これらの問題の解決となる策を県に提案してはどうか。また、鴨島町敷地の変電所付近では、すぐに水がオーバーフローしたり、竹林が水の流れを阻害していると聞く。対策はどのようになっているのか。

◎建設部理事

麻名用水堰撤去については、石井町において県、麻名用土地改良区、地元住民の方々と調整を行っているので、本

◎再問

マスコミ報道でもあったが『吉野川市民の悲願であり、しかしながら今日までも解決しない』案件でもある。直ちに解決するとは考えていないが、市民から見れば改善の見えない現状から、何らかのアクションに期待するのではと考えることも当然である。飯尾川氾濫の改善に向けて、市長自らの決意は。

◎市長

最近の台風・異常気候で予想できない豪雨が全国的に発生し、被害が大きくなっている傾向にある。飯尾川の河川改修や

麻名用水堰の撤去問題について、県や石井町、他の関係機関の調整がなかなか進まず、年数も経過していることから、非常に難しい状況となっていると思われる。

被害を受けている本市としては、国、県と連携を密にして情報共有し、一日も早く流域の市民が安全で安心な生活ができるように努力したい。

◎市長

利用者ニーズの把握や先進地の調査研究等を行い、本市にとって最適な移動支援策の構築を目指したい。

◎質問

救急事情の改善について、本市周辺地域での受け入れを増やせないか。

◎健康福祉部長

県内全域における医療機関の受け入れ体制の充実を図ることが喫緊の課題となっている。

県や医師会等の関係団体との連携調整を図りつつ一体となって課題解決に向けて取り組みたい。

◎質問

救急ワークステーションに類似するシステムの検討は。

◎防災局長

救急事情の現状を踏まえ、消防本部へ伝える。

【その他の質問】

平成16年台風23号で氾濫した飯尾川(市役所南方面を撮影)



◎質問

交通弱者対策について移動支援策を新設する考えは。

令和元年12月 議会定例会



福岡 正
(由美会・清風会)

子どもはぐくみ医療の自己負担金の無料化は
(質問)

他市の状況も見据えながら
財政事情も踏まえ検討していく
(答弁)

◎質問

本年6月に発表された厚生労働省の統計によると、2018年の日本の子どもの出生率は、91万8397人で過去最少を更新し、一人の女性が生涯産む子どもの推定数も1.42と3年連続で減少しており、その背景には経済的理由があるとされている。

子育て支援は、本市の重要施策のひとつとし、他の自治体に先駆け、子育てニーズに応じたさまざまな施策に取り組み、

仕事と子育ての調和や教育環境の充実など、若者も安心して産み育てる環境づくりに努めている。今後、さらなる子育て支援の充実を図り、人口増に結びつけていくためには、子どもはぐくみ医療の自己負担金の無料化を図るべきであると考え、本市の考えは。

◎健康福祉部長

本市における子どもはぐくみ医療費制度については、中学校修了までの期間、病気やけがの治療

で医療機関等に支払った医療費のうち、高額医療費および入院時食事療養費にかかる負担額を除いた、保険診療の自己負担分を助成している。現在の状況は、通院は3歳から、入院は6歳からとそれぞれ月額600円の負担が必要になる。

本制度は県の助成制度を利用しており、対象は中学校修了までとなり、所得制限があり、自己負担月額600円を設けている。自己負担金を無料化した場合、本市の追加負担額は、新たに約2千万円を超える。

本市では、医療費負担の軽減を図りながら、自己負担金を設け、多重受診の防止の観点から医療費の抑制に努めている。自己負担金の無料化については、他市の状況を見据えながら、財政事情も踏まえ、検討していく。

【その他の質問】

◎質問

人・農地プランについて本市の現状と実質化に向けた今後の取り組みは。

◎産業経済部長

実質化である農地の出賃として受け手が特定されている割合は、最も優良農地である地区でも4割に達していない。今年度のアンケートの実施と結果を取りまとめ、来年度に各地区毎の座談会等を経て、来年度末までにまとめる予定。

◎質問

本市の汚水処理人口普及率の現状は。

◎環境局長

本市の普及率は71.3%と全国平均を約20%下回っている。

◎質問

合併処理浄化槽推進に

対する考えや、補助金の引き上げについては。

◎環境局長

水質保全に大きな役割を果たしており、下水道が整備されていない地域での合併処理浄化槽の普及を推進する。

単独処理浄化槽などから転換する場合、宅内配管工事費についても補助の対象となるよう、現在検討している。

◎質問

浄化槽汚泥等投入事業の進捗状況は。

◎環境局長

今年度中に工事を発注し、令和3年4月からの運用開始に向けて進めている。

この事業による効果の見込み額は、今年度の阿北環境整備組合への負担金6306万円と比較し、約1500万円前後軽減される見込み。



岡田 晋

徳島病院の存続について

(質問)

引き続き、厚労省や国立病院機構に徳島病院存続の要請活動を行う

(答弁)

◎質問
近隣住民が核となり草の根運動に発展した市民による病院存続署名運動を市としてどのようにとらえているか。

◎再々問
市長は、徳島病院存続に向けた今後の要請活動について、どのように考えているか。

◎健康福祉部長

多くの方が徳島病院を守る会の活動に協力した結果5万7千人を超える署名が集められ

◎市長
今後とも厚労省や国立病院機構に対し市議会や市長会の協力を得ながら、徳島病院存続に向けた要請活動を引



川村 辰夫

企業誘致に、どのように主体的かつ戦略的に取り組むのか

(質問)

コワーキング・シェアオフィスを核に企業誘致に繋げる

(答弁)

◎質問
地方創生、地域の活性化にはまず「しごと」の創生が不可欠であり、人口流出に歯止めをかけ若者の定住に繋がる施策のキーポイントは企業誘致にあるように思う。本市では、雇用機会が少なく若者が市外、県外に仕事を求めて転出を余儀

企業誘致から移住定住に繋げるよう取り組む。◎再問
専門職員、専門部署を設置する考えは。

◎市長

動向を見極めながら検討し企業誘致に向けた機会を捉えてトップセールスに取り組みたい。



岸田 益雄

都市計画道路の見直しは

(質問)

事業廃止の環境を整えるための計画を策定し、路線廃止の協議を進める

(答弁)

◎質問
旧鴨島町は、鴨島町全域が徳島東部都市計画地域に指定され、当時の鴨島町役場や鴨島駅を中心とした区域を市街化区域と指定し、主に都市の骨格となる鴨島市街地中心部の道路の整備は完成した。外周部の知恵島中島線、喜来知恵島線、喜

◎再問
市民プラザ完成後、鴨島駅前広場とその周辺を再開発する予定だが、関連事業の銀座通りアーケードの撤去、駅前通りアーケードの改修はどうするのか。都市計画道路のうち未整備である3路線の廃止についての今後のスケジュールは。

たことを市としては重く受けとめ、今後の活動に取り組みなければならぬと考えている。

◎再問

本市における徳島病院の役割と市としての将来展望について、雇用経済面での波及効果の検証を市民とともに調査研究してはどうか。

◎健康福祉部長

大規模災害時の災害拠点病院を支援、補完する災害医療支援病院であり、市民生活に安心・安全を提供しなくてはならない医療機関である。

◎産業経済部長

徳島病院は地域の雇用や経済効果は計り知れないものがあり、雇用経済面での波及効果の検証を、市民とともに調査研究を協力して進めていく。

引き続きしっかりと行う。

【その他の質問】

◎質問

投票所における土足での入退場・高齢者等の移動困難者の投票所への移動支援と、移動投票所を導入する考えは。

◎市民部長

施設管理者と協議し、可能なところから土足対応を図る。福祉部局等とも連携を図り、高齢者の投票機会の確保に努めたい。

◎質問

阿波川島駅のトイレが封鎖され通学生が使用できず困っている。再開をJRに要請しては。

◎副教育長

児童生徒の利用のことを考え、JRにトイレの再開を要請する。

なくされ、少子高齢化にますます拍車がかかり衰退している現状にある。企業誘致実現に向け、どのように主体的かつ戦略的に取り組むのか。

◎産業経済部長

市民プラザ内に開設予定のコワーキング・シェアオフィスにおいて起業に向けて活動している方や新規事業所の開設を検討している県内外の企業を対象としてセミナーの開催も計画中であり、本市の持つ潜在的な魅力を伝えられるようコワーキング・シェアオフィスを核に情報発信による

【その他の質問】

◎質問

浸水想定区域、土砂災害警戒区域内にある要配慮者利用施設数および避難確保計画の作成状況は。

◎防災局長

浸水想定区域内の施設は162件あり避難確保計画は151件報告されている。土砂災害警戒区域内の施設は18件あり避難確保計画は4件報告されている。今後未報告施設の作成支援を行う。

◎質問

旧川田小学校の廃校舎利活用の進捗状況は。

◎副教育長

懸案事項の検討を重ね、地域の理解が得られる利活用のあり方を今年度末を目途に公表できるように取り組む。

来東西支線は、まだ手付かずの状態であるが、この計画路線の見直しを行う予定と、今後のまちづくりの計画は。

◎建設部長

都市計画道路を整備する際、鴨島中央通線、喜来上下島線等の市街地の中心に位置し、重要度の高い路線から着手し、その周辺部にある路線の整備を進め、現在6線が完成している。未整備である3路線については、市街地の外周に位置しており、今後本市においても急激な人口減少が進み、市街地の縮小などで重要性が少なくなると思われるため、事業廃止を考えている。

◎建設部長

令和2年度に鴨島駅前広場周辺整備、3年度に鴨島駅東部、主に銀座・文楽地区の道路排水施設の整備を行う。アーケードについては

は地元商店街の皆様と協議し、今後の展望を踏まえた中で検討する。都市計画道路の廃止については、現在県との協議が継続中であり、事業廃止の環境を整えるための計画を策定し、廃止の協議を進める。

【その他の質問】

◎質問

「新・放課後子ども総合プラン」への取り組みは。

◎健康福祉部長

場所や人材の確保などの問題もあるが、地域や保護者のニーズを踏まえて、関係部局と協議・連携し検討する。



コワーキング・シェアオフィス

令和元年12月 議会定例会 一般質問



田村 修司

市外医療機関での高齢者インフル
エンザ予防接種への助成は
(質問)

助成に向けて前向きに
検討する
(答弁)

◎質問
本市をはじめ各市町村では、65歳以上の方のインフルエンザワクチン予防接種に対し公費による助成を行っている。この助成を受けているには、従来は居住する市町村内の医療機関でしか接種できなかったが、3年前から県医師会による予防接種広



岡田 光男

ごみ出し困難者への支援は
(質問)

地域で支え合える包括的な
体制を検討したい
(答弁)

◎質問
下水道の接続率と、今後の整備計画は。

○水道部長

市全体の接続率は76.1%である。健康的で住みよいまちづくりに向け、事業の啓発・普及推進に取り組みたい。

◎質問
本市のごみ処理に対する基本理念、廃プラのごみ量の推移と処理内容、ごみ出し困難者への支援は。

○環境局長

「廃棄物の適正処理と再利用の推進による循環型社会のまちづくり」を基本理念と定め

◎質問
市長の政治姿勢において、住民との対話をどう進めるのか。

○市長

地域審議会を「対話」の基本とし、より幅広く多くの住民の声を聞くよう取り組んで

議会のうぶき (10月11月)

10月

1日 第159回徳島県市議会議長会定期総会

2日 徳島中央広域連合議会9月定例会
議会広報特別委員会

3日 広域農道吉野川中部地区新設促進期成同盟会総会

11月

7日 第14回徳島県西部市議会連絡協議会研修会

8日 全国市議会議長会第166回産業経済委員会・正副委員長会議

15日 全国過疎地域自立促進連盟第139回理事会・第50回定期総会
議会運営委員会

18日 中央広域環境施設組合議会第2回定例会

20日 阿北特別養護老人ホーム組合議会第1回臨時会

阿北環境整備組合議会第1回臨時会
阿北火葬場管理組合議会第1回臨時会

21日 国道193号(脇町・塩江間)整備促進期成同盟会総会

域化事業により居住地以外の医療機関でも受けられるようになった。居住地以外にかかりつけ医がある場合や、勤務地の医療機関で受けたい場合などの利便性を向上させることで、接種率のアップを図ろうというものである。

現在、本市は広域化事業に加入していないが、県内市町村が協調し、どこで予防接種をしても助成を受けられるように加入すべきと考えるが本市の考えは。

○健康福祉部長

広域化することで、かかりつけ医が市外の方、病気療養で市外の病院等に入院している方などは、健康状態を把握しているかかりつけ医が予防接種の時期を決定できることから、本市においても広域化事業への加入に向けて前向きに検討したい。

◎質問

公共下水道に接続するための助成制度に、グループ申請を取り入れることはできないか。

○水道部長

来年4月からの実施に向け検討し、決定次第広報などで周知する。



共用開始区域拡大に向け工事が進む下水道

◎質問

本市の保険者機能強化推進交付金はどのくらいか。

○健康福祉部次長

令和元年度の交付金額は、694万8千円である。

「ごみ減量化の推進」「再資源化の促進」「ごみの安全・安心な適正処理」の3つの基本方針を立て推進している。

廃プラ類の主となるペットボトルは、分別収集し資源化を図っており、昨年は93トンで、127万円の売却収入があった。

今後は、健康福祉部門と連携を図り、高齢者のごみ処理に関する実態調査を行い、高齢者などのごみ出し支援策を検討したい。

◎再問

本市のごみ処理計画では、高齢化社会に対応して、適宜運搬収集体制を見直すところがあるが。

○環境局長

地域で支え合える包括的な体制や基盤づくりが進められるよう、関係部署と連携し、しっかり検討したい。

い。

◎質問

吉野川が決壊した場合の避難場所は。

○防災局長

施設以外の高台の公園などの追加指定を検討している。

◎質問

新アリーナでの講座参加者への負担軽減は。

○教育委員会理事

多くの市民が参加できるように、低価格での設定を検討している。

◎質問

来年度から「会計年度任用職員」に移行することをごまごまなのか。

○総務部次長

移行後の人件費は、共済費を含め年間で4300万円の増額を見込んでいる。

クイズ??

吉野川市にある観光名所です。○に当てはまる言葉は何でしょう。



○の花まつり(美郷)

毎年2月中旬から3月中旬に見頃を迎えます。梅の花見ウォークも開催され、特産品の販売や各種催し物などが行われます。開花状況、開催日は市ホームページにてお知らせしています。

●正解者の中から抽選で10名様に吉野川市ブランド認証品を進呈します。

●応募方法

はがき、またはFAXに答えと郵便番号、住所、氏名、年齢、電話番号を明記の上、議事事務局へお送りください。応募の際に「議会だより」についての感想、「チョットひと言」添えてみませんか。

●応募先

〒776-8611 吉野川市議事事務局
TEL(0883)221-2241
FAX(0883)221-2242

●締切日 令和2年3月31日(消印有効)

●チョットひと言

★②・④・⑤には、苦闘しました。

(鴨島町 井上さま)

●(前回の解答)

- ① 新田
- ② 尖岩
- ③ 城ノ内
- ④ 亀ヶ尾
- ⑤ 長戸
- ⑥ 明治開
- ⑦ 東外
- ⑧ 市瀬東

	議案名	賛成 反対
選挙	- 徳島県後期高齢者医療広域連合議会の議員選出について	指名推選
	- 阿北火葬場管理組合議会の議員選出について	指名推選
	- 阿北特別養護老人ホーム組合議会の議員選出について	指名推選
	- 中央広域環境施設組合議会の議員選出について	指名推選
専決	報第15号 専決処分の承認を求めることについて（令和元年度吉野川市一般会計補正予算（第3号））	承認
	報第16号 専決処分の承認を求めることについて（令和元年度吉野川市一般会計補正予算（第4号））	承認
	報第17号 専決処分の報告について（和解及び損害賠償額の決定について）	報告
条例	議第103号 吉野川市暴力団排除条例制定について	原案可決
	議第104号 吉野川市議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	議第105号 吉野川市特別職で常勤のものの給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	議第106号 吉野川市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	議第107号 吉野川市職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	議第108号 吉野川市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	議第109号 吉野川市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
	議第110号 吉野川市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決
予算	議第111号 令和元年度吉野川市一般会計補正予算（第5号）について	原案可決
	議第112号 令和元年度吉野川市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）について	原案可決
	議第113号 令和元年度吉野川市介護保険特別会計補正予算（第2号）について	原案可決
	議第114号 令和元年度吉野川市水道事業会計補正予算（第1号）について	原案可決
その他	議第115号 吉野川市飯尾敷地コミュニティセンター及び吉野川市飯尾敷地公民館の指定管理者の指定について	原案可決
	議第116号 吉野川市美郷ほたる館の指定管理者の指定について	原案可決
	議第117号 吉野川市川島老人福祉センターの指定管理者の指定について	原案可決
	議第118号 吉野川市城山老人福祉センターの指定管理者の指定について	原案可決
	議第119号 吉野川市山川老人福祉センターの指定管理者の指定について	原案可決
	議第120号 吉野川市ふれあい交流の家の指定管理者の指定について	原案可決
契約	議第121号 吉野川市アリーナ・交流センター（仮称）建設工事の変更請負契約の締結について	原案可決
人事	議第122号 副市長の選任について	同意
	議第123号 固定資産評価員の選任について	同意
意見書	発議第3号 じん肺・アスベスト被害根絶を求める意見書について	原案可決
	発議第4号 国民健康保険税を協会けんぽ並に引き下げる改善を求める意見書について	原案可決
決議	発議第5号 吉野川市のJR駅のトイレの使用再開を求める決議について	原案可決

●令和2年1月30日
茨城県結城市議会 新和会（議員7名）
新規就農支援事業について
農地バンクについて



吉野川市では、全国の議会関係者からの行政視察を積極的に受け入れています。

行政視察受入状況

12月議会定例会開会日（11月25日）に、上浦小学校の6年生10名が議会見学を行いました。



議会見学

吉野川市高校生議会を開催！

令和元年12月23日、吉野川市議会議場において、川島・吉野川高等学校の生徒20名による「吉野川市高校生議会」が開催されました。

各校の生徒が議長や議員を務め、代表の10名が一般質問を行い「こんな市だったらいいな」と夢や希望に満ちた質問や提案がありました。

《高校生の感想》

★私たちのような若い世代の意見が求められていることを実感しました。
今回の高校生議会をきっかけに、市政への興味を深めていきたいです。

(川島高等学校・松尾七美さん)

★高校生議会に参加し、他のさまざまな方の意見や質問を聞くことができて良かったです。僕たちが吉野川市、徳島県に貢献できたらいいなと思いました。

(吉野川高等学校・桂 太陽さん)

●川島高等学校

吉田 奏絃
梅津リジア
武田 実夢
松尾 七美
川真田康介
上田 悠翔
赤松 美海
高川 朱音
三笠 初月
佐藤 幸聖

●吉野川高等学校

森本倫太郎
堀田 祐貴
上田 陸
桂 太陽
松原 優莉
浦野 春菜
浅海 聖
浦川 聖矢
篠原 青波
横田海希斗

〔敬称略・順不同〕



高川 朱音さん
「若年者への主権者教育・対策について」



森本倫太郎さん
「防災対策について」



川真田康介さん
「スポーツ行政について」



浅海 聖さん
「交通弱者の移動支援について」



上田 悠翔さん
「日本遺産や文化財を活かした市の活性化について」



上田 陸さん
「新アリーナを活かした賑わい創出について」



三笠 初月さん
「医療行政について」



篠原 青波さん
「職員採用試験について」



赤松 美海さん
「災害時における避難所運営について」



松原 優莉さん
「旧種野小学校の活用について」

今昔よしのがわ

令和2年3月で鴨島幼稚園・知恵島幼稚園が閉園となります。

吉野川市も幼稚園・保育所の再編が進み、幼稚園も残り2園となりました。

撮影日も、ドッジボールや、砂遊び、鉄棒をしたりと、元気いっぱいの子どもたちの声が園庭に響いていました。

来年度から児童たちは、こども園・小学校に元気に通います。



鴨島幼稚園



知恵島幼稚園

吉野川市高校生議会

令和元年12月23日の高校生議会において、議長・副議長の大役を務められた3名です。

若さ溢れる議事運営で、滞りなく閉会することができました。大変お疲れさまでした。



議長(前半)

浦野 春菜さん

(吉野川高等学校)

★今回、議長を務めさせていただきました。議長席に着いた時、緊張とともに皆様の答弁を聞きながら、自分も頑張りたいと思いました。



議長(後半)

吉田 奏絃さん

(川島高等学校)

★行政・政治について体験できる良い機会となりました。議長という経験を忘れずに、学校生活に役立てていこうと思います。



副議長

横田 海希斗さん

(吉野川高等学校)

★議会がどんな空気なのか、感じる事ができました。とても緊張しました。

あとがき

昨年4月に鴨島東こども園が開園し、もうすぐ1年を迎えます。

川島こども園、高越こども園に続き、鴨島東地区の牛島、森山、上浦の3カ所の幼稚園と鴨島東保育所を再編し、現在約160名の0歳から小学校就学前の子どもたちが元気に登園しています。

鴨島東保育所では、建物の老朽化や、台風時には、周辺道路の浸水など心配もありましたが、鴨島東こども園では、安全でより良い保育環境の中、子どもたちも安心して生活することができ、とても嬉しく思います。

今年4月には、鴨島、知恵島幼稚園と鴨島中央保育園が再編され、(仮称)認定こども園鴨島中央が開園される予定です。

この再編で、吉野川市の幼稚園はすべて閉園となります。

原井市長にも、引き続き子育て世帯が安全で安心して子どもを産み育てることができるまちづくりへの取り組み、また、更なる子育て支援の充実に向け、より良い政策を展開していただきたいと思えます。

細井 英輔



【編集委員】

委員長 山添純二

副委員長 工藤俊夫

委員 塩田智子

委員 栗原五男

委員 細井英輔

委員 岡田光男